

# 月次レポート

第9号  
2009年8月10日作成

# ユニオンファンド

追加型株式投資信託／ファンド オブ ファンズ  
(分配金再投資専用)

～ マークのなかに託した私たちの想い ～

4世代(おじいちゃん・おばあちゃん、熟年世代、勤労世代、お子さんやお孫さん)をあしらいました。  
ハンドinハンドで親近感や繋がり・絆を深め、  
幸せの輪をひろげようという想いを込めています。



Union Asset Management Inc.  
ユニオン投信株式会社

「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2009年8月10日作成)をお届けします。

## 運用状況のご報告

### ユニオンファンド概況

	2009年7月31日現在	基準価額と純資産額の推移
基準価額	12,158円	
純資産額	4億1,448万円	

#### ■ 期間別騰落率(%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
+7.16%	+20.73%	+38.50%	—	+21.58%

#### ■ 組入れファンドの内訳 (組入比率は7/31付け)

ファンド名	主な地域	組入比率	目標組入比率	目標比
さわかみF	日本	19%	20%	-1%
キャピタルF	欧米	27%	27%	±0%
ハリスF	欧米	18%	18%	±0%
コムジエスF	イマジナ	34%	35%	-1%
キャッシュ	—	3%	—	3%

### ファンドマネージャー コメント

#### ■ 投資環境と見通し

長期に亘る株式運用に於いては真の意味での「長期投資」を行う必要があります。そこで「長期投資」について「長期保有」との比較から整理してみました。

#### ＜株式投資における「長期投資」と「長期保有」の違い＞

賢明な株式投資における「長期投資」は「長期保有」とは異なります。「長期投資」に当たっては、単なるバイ・アンド・ホールド(「長期保有」)よりも、タイムリーに株式比率や投資銘柄を見直す方が効果的と考えます。

景気は常に変動し企業業績も変動することから株価も変動する宿命にあります。したがってこの株価のうねりを利用し、株式投資の基本である「安く買い」「高く売る」という作業を長期間繰り返すことが「長期投資」のポイントといえます。

ところで株価が変動するのは企業業績が変動するからです。その変動要因には次の二点があります。

①マクロ要因によるもの・・・「景気(生産・販売)」「金利」「為替」「原油価格」変動など、企業の努力

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

とは関係ない要因で企業業績が変動するもの。今回の大暴落はこの要因によるものでした。

- ②マイクロ要因によるもの・・・企業の経営努力の巧拙が反映されるもの。強気相場の中でも値下がりする銘柄があり、また弱気相場の中でも下げ渋る銘柄があります。これらはマクロ要因の制約の中で個別企業の努力・実力が反映され株価が逆行する例です。

上記マクロ要因・マイクロ要因の変化は今後も当然続き株価も変動します。従って運用にあたっては、次の点に留意する必要があります。

- (1)マクロ要因を的確に分析・予測して株価水準の割安・割高を判断し、株式投資比率をコントロールする。即ち、①割安時にはフルに運用して（＝現金比率を極力低くして）、今後の値上がりに備える、②割高時には一部売却して株式比率を引き下げ（＝現金比率を高め）、次の割安時に備える、ことが必要です。
- (2)企業が長期にわたり繁栄を維持するのは難しいことです。例えば米国「ダウ 30」採用銘柄の変遷では過去 30 年間で約 8 割が入れ替わっています。株価も企業の栄枯盛衰を素直に反映します。即ち、企業の成長過程では株価は上昇しやすく、逆に成熟・衰退過程では株価は下落しやすくなります。このため同一銘柄を「長期保有」することにはリスクがあります。従って的確なリサーチに基づき絶えず「銘柄入替」を行うことが必要です。

### ＜一般投資家のファンド投資においては「長期投資」と「長期保有」は同じ＞

ところで、一般投資家の方々（お客様）が上記のような作業（投資比率の増減、個別銘柄の入替）を手許で長期継続的に行うには限界があります。①専門知識、経験・体験が十分でない場合が多いこと、②時間の制約があること、などが要因です。

ここにファンドの存在意義があります。ファンドが一般投資家に成り代わって、投資比率の増減、個別銘柄の入替などを基本とした「長期投資」を行います。したがって一般投資家（お客様）はファンドを「長期保有」すればよいこととなります。（もしファンドが当初の運用方針をきちんと実行せず、その結果期待した運用実績があらぬ場合には、解約や他のファンドへの乗り換えなどを行うこととなります。）

### ＜ユニオンファンドの「長期投資」＞

ユニオンファンドは「ファンド・オブ・ファンズ」方式で運用しています。全世界・全地域の個別銘柄投資をユニオンファンドが自ら行う代わりに、世界に点在する各地域に特化した「専門性の高いファンド」に投資しています（現在、ユニオンファンドは「専門性の高いファンド」を通じて世界約 30 カ国、約 500 銘柄に投資しています）。「専門性の高いファンド」に個別銘柄選択を委ねる方が、より良好な成績をあげることができると考えているからです。

このように複数の投資ファンドを組入れる立場のユニオンファンドは次のような役割を担っています。

- ①まずマクロ要因を的確に分析・予測して、現金比率を決める（投資比率の決定）。
- ②次に「長期投資」の考え方が確立・実践され実績をあげているファンドをグローバルなバランスなどを考えながら複数選ぶ（投資ファンドの選定）。
- ③選んだ各投資ファンドをマクロ環境などに応じてどのように組入れるかを定める（投資ファンドの配分決定）。
- ④各投資ファンドを組入れした後は、常時投資ファンドの運用内容をフォローする。・・・投資ファンドが行う個別銘柄の選択・入替などのチェックを行い、当初方針と違う運用が見られる場合はその投資ファンドを入れ替える。

以上を通じて、ユニオンファンドは「長期投資」を実践しています。そして一般投資家の方々（お客様）はユニオンファンドを長期保有することで「長期投資」を実践できることになる、と考えています。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## ■ 運用報告

### ■ ユニオンファンドは、

①「株式」に投資する ②「グローバル」に投資する ③インデックスでなく「アクティブ」に投資する、  
ファンドの中から実績を挙げてきた4つのファンドに投資しています(ファンド・オブ・ファンズ)。

### ■ 地域別「目標」投資配分としては、世界の株式市場シェアに比べて「日本」と「エマージング」のウエイトを高めとし、「欧米」を低めとしています。

「日本」 : 低成長市場だが身近な精通した市場

「エマージング」: 伸び盛りの高成長市場

「欧米」 : 成熟した低成長市場

7月も先月と同じ投資配分で運用しました。

### ■ 今年3月を底に世界の株式市場は上昇を続けてきましたが、今回の株価下落があまりにも大幅であったことから長期投資の観点からは、まだ将来予想を含む企業価値に対して割安な水準にあると判断し、引き続き「強気」スタンスを継続しています。

7月中の組み入れ比率は97~100%で推移し、平均98%、月末時97%となっています。

### ■ 7月の株式市場は前半軟調のあと、後半切り返し高値圏で終わりました。

前半軟調の背景は次の3点でした。…①3月以降の上昇の反動(需給面)、②企業業績への懸念(短期的)、③失業増・消費低迷への懸念(長期的)。しかし、企業業績が予想を上回る状況であったことから、空売りの買い戻しや新規資金の流入などから6月の高値を上回りました。「G8・G20」による声明も株高を支援しました…「世界経済は安定化の兆し。しかし依然不確実。出口戦略は必要だが、時期尚早」。

### ■ ユニオンファンドは3月以降順調に上昇を続け、7月下旬には12,000円台に乗せました。

7月の具体的な推移としては、中旬に安値10,640円(7/14)を付けたあと、その後は順調に上昇し、月末に高値12,158円を付けました。

## ■ 今後の運用方針

### ● 目標投資比率

原則「フル運用」(98%程度)としますが、新規資金の増加や組入単位との兼ね合いなどから多少低めになることがあります。

### ● 地域別目標投資比率

「地域別目標投資比率」を下記の通り一部(段階的に)変更します。

…日本:20%→18%、欧米:45%→42%、エマージング:35%→40%

(エマージング諸国では再成長がスタートし、5年後の世界名目GDPシェアが約40%に近づく見込み

…IMF予想:現在31%→5年後は約40%。これを先取りしてエマージング比率を5%引き上げ40%とする。

その分、日本を2%、欧米を3%引き下げる。)

### ● ファンド選定

当面、現在の4つのファンドに投資していきます。

### ● ファンド別目標組入比率

上記「地域別目標比率」の変更を受け、「ファンド別目標組入比率」を下記の通り一部変更します。

…さわかみF:約20%→約18%、キャピタルF:約27%→約25%、ハリスF:約18%→約17%、

コムジェストF:約35%→約40%

※ファンド売却は行わず、新規資金流入の都度比率修正を行います。従って修正に1~2ヵ月かかることもあり得ます。

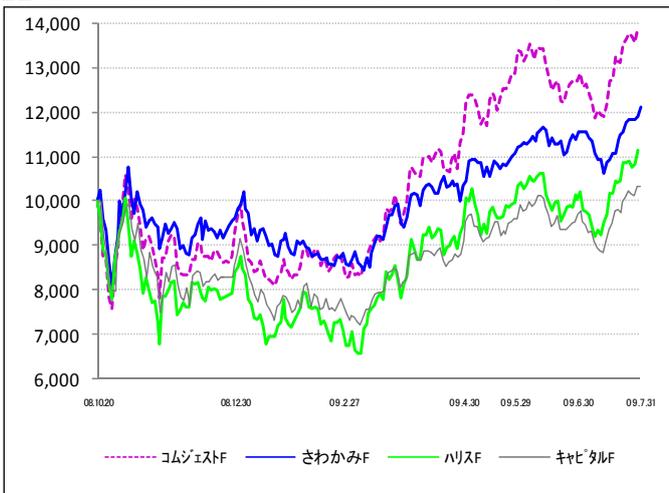
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# 「ユニオンファンド概況」補足コメント

■ 図1 組入ファンドの基準価額推移(2008. 10. 20=10,000)



## >> 図1 基準価額推移

4ファンドとも3月以降急回復。6月中旬以降の調整を乗り越え7月末は高値に。  
7月1ヶ月騰落率は次の通り。  
・・・「コムジェストF:9.6%」、「さわかみF:4.8%」、  
「ハリスF:9.6%」、「キャピタルF:8.3%」。

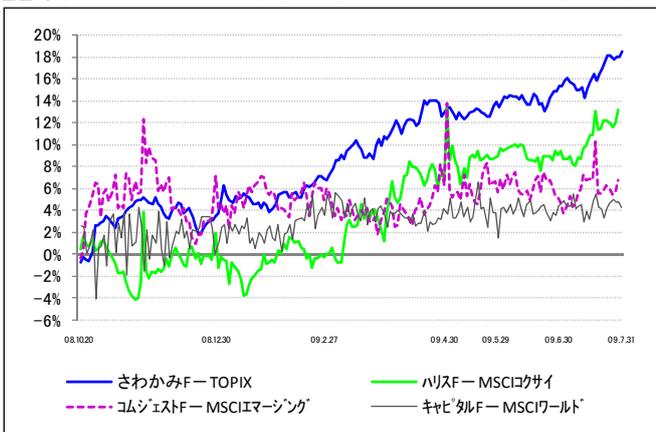
## >> 図2 相対パフォーマンス

4ファンドともインデックスを上回るパフォーマンス。  
「さわかみF」・・・輸出関連株の上昇などからインデックスを約18%凌駕。  
「ハリスF」・・・金融株急騰などを受け約13%凌駕。  
「コムジェストF」・・・銘柄選択効果などから約7%凌駕。  
「キャピタルF」・・・安定的に約5%凌駕。

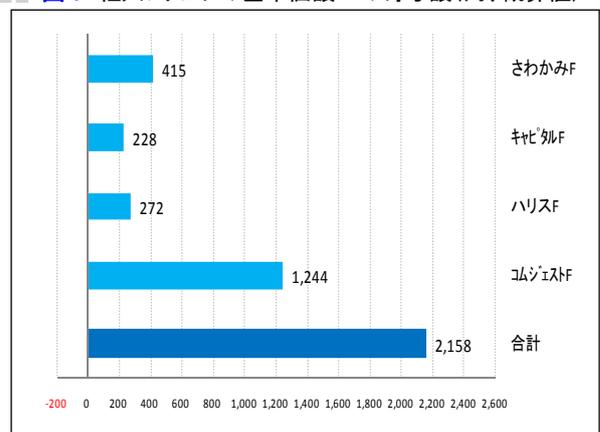
## >> 図3 寄与額

7月末の基準価額が12,158円となっており、2,158円の評価益に。その内訳を4ファンドに分解すると第3図の通り。4ファンドともプラス寄与。なかでも「コムジェストF」の貢献が大きい。

■ 図2 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)



■ 図3 組入ファンドの基準価額への寄与額(円、概算値)



## >> 図4 時価総額シェア・目標投資比率

時価総額シェア・・・昨年10月を底に「エマージング」が上昇中。その分「欧米」が低下。「日本」は横這いからやや低下。

「地域別目標投資比率」

⇒ 今回下記の通り一部変更。

日本 : 20%→18%(シェア比+10%)

欧米 : 45%→42%(シェア比▲18%)

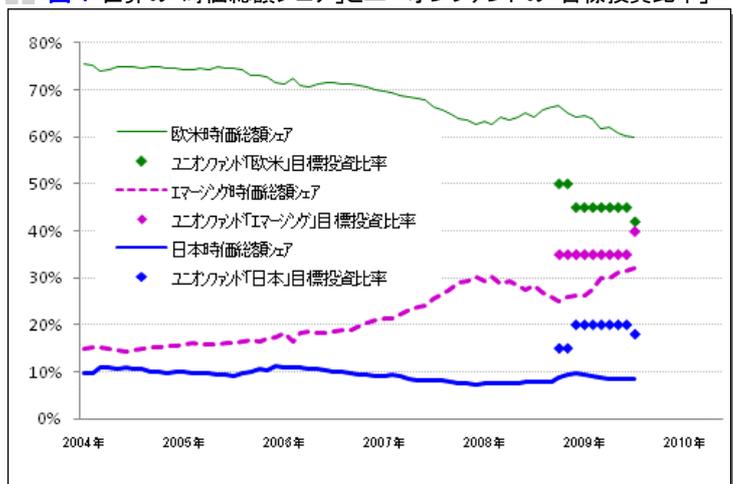
エマージング : 35%→40%(シェア比+8%)



運用部長 (ファンドマネージャー)

坂爪 久男

■ 図4 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所)「時価総額シェア」:ユニオン投信株式会社調べ

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## 組入れ4ファンドの状況

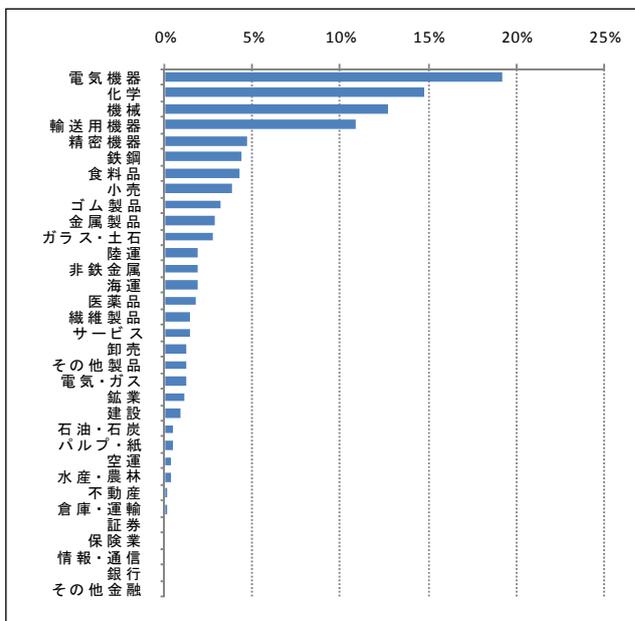
### ■ さわかみF (さわかみファンド)

#### ■ 株式組入上位 10 銘柄等

2009年7月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	ブリヂストン	3.0%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
2	花王	2.9%	日本	化学	トイレタリー首位
3	パナソニック	2.8%	日本	電気機器	総合家電首位
4	コマツ	2.6%	日本	機械	建設機械でキャタピラーと双壁
5	SUMCO	2.4%	日本	金属製品	半導体用シリコンウエハー大手
6	トヨタ自動車	2.4%	日本	輸送用機器	自動車世界トップ
7	信越化学	2.1%	日本	化学	塩ビ・シリコンウエハー世界大手
8	セブン&アイ	2.1%	日本	小売	日本最大の小売グループ
9	デンソー	2.0%	日本	輸送用機器	トヨタグループの中核
10	商船三井	1.8%	日本	海運	タンカー・LNG 船で世界一
上位 10 銘柄		24.1%			
その他 189 銘柄		72.6%			
キャッシュ		3.3%			

#### ■ 業種別構成比



業種：東証 33 業種

構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

#### >> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆組入銘柄数は約 200。最近 1 年間で約 100 銘柄を圧縮。  
業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。
- ◆具体的には、以下の特徴がある。
  - (1) 電気機器、化学、機械、輸送用機器、精密、鉄鋼など「ものづくり」企業の比率大。
  - (2) 食料品、小売などの「生活関連」企業の比率大。
  - (3) 金融、通信、不動産などの「内需型」企業の比率小。
- ◆中小型銘柄から大型・国際優良株へのシフトを進めている。  
環境・太陽光関連銘柄が組入れ上位に入ってきた。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ キャピタルF (CIF グローバル・エクイティ・ファンドクラスA)

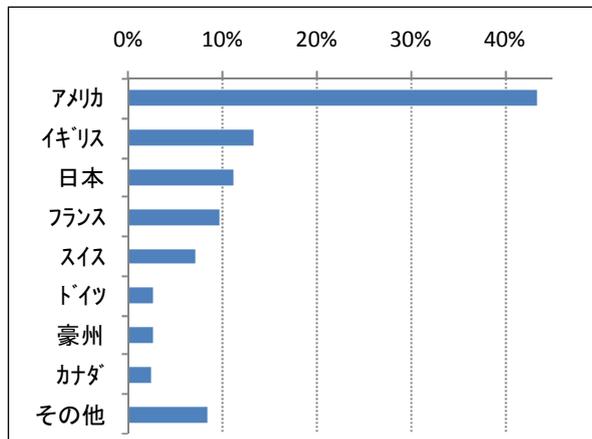
■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

2009 年 6 月末現在

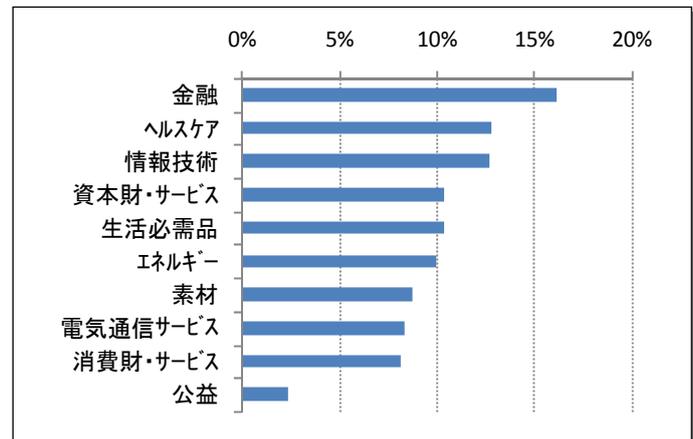
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Royal Dutch Shell	3.5%	オランダ	エネルギー	石油ガス
2	Roche	2.8%	スイス	ヘルスケア	医薬品大手
3	PepsiCo	2.2%	アメリカ	生活必需品	飲料大手
4	Bouygues	2.0%	フランス	電気通信サービス	通信大手
5	Goldman Sachs	1.9%	アメリカ	金融	世界有数の投資銀行
6	Celgene	1.6%	アメリカ	ヘルスケア	急成長バイオ
7	Google	1.4%	アメリカ	消費財・サービス	世界最大のネット検索
8	Target	1.4%	アメリカ	消費財・サービス	小売チェーン大手
9	Allegheny	1.3%	アメリカ	素材	特殊金属
10	Johnson & Johnson	1.3%	アメリカ	ヘルスケア	日用雑貨ヘルスケア
上位 10 銘柄		19.4%			
その他		77.7%			
キャッシュ		2.9%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 日本を含む先進国に幅広く投資。
- ◆ インデックスに対し大きな偏りをとらず、長期間の安定的な超過収益を狙うファンド。
- ◆ 3 月以降の上昇相場で、ディフェンシブ(ヘルスケア・生活必需品・通信)から景気敏感(金融・素材・エネルギー)にシフトしてきたが、最近は商品市況調整を受け、素材・エネルギーのウェイトを少し低下。

◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
 ◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
 ◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

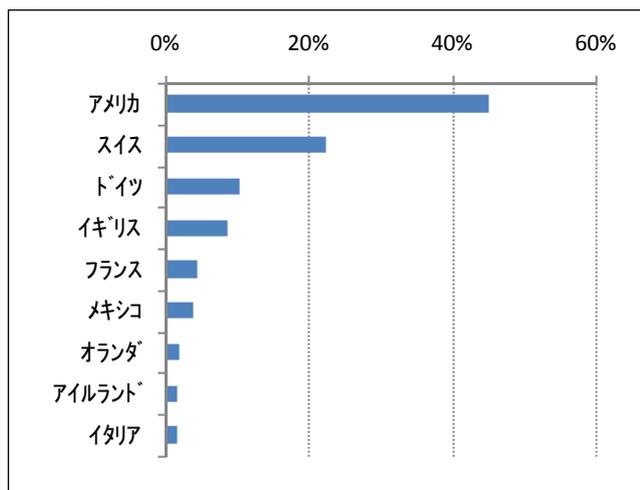
■ ハリスF (ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007)

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 グループ 2009 年 6 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	INTEL	6.6%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー
2	JULIUS BAER	4.8%	スイス	各種金融	プライベートバンク
3	HEWLETT PACKARD	4.3%	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	コンピューター関連大手
4	BANK OF NEW YORK MELLON	3.9%	アメリカ	各種金融	金融大手
5	FRANKLIN RESOURCES	3.6%	アメリカ	各種金融	資産運用(フランクリン テンブルトン)
6	FINANCIERE RICHEMON	3.6%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・ラグジュアリー
7	DAIMLER	3.4%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
8	CARNIVAL	3.2%	アメリカ	消費財・サービス	クルーズ客船
9	ADECCO	3.1%	スイス	商業・専門サービス	人材派遣世界展開
10	SAP	3.0%	ドイツ	ソフトウェア・サービス	ソフトウェア世界展開
上位 10 銘柄		39.5%			
その他 31 銘柄		54.7%			
キャッシュ		5.8%			

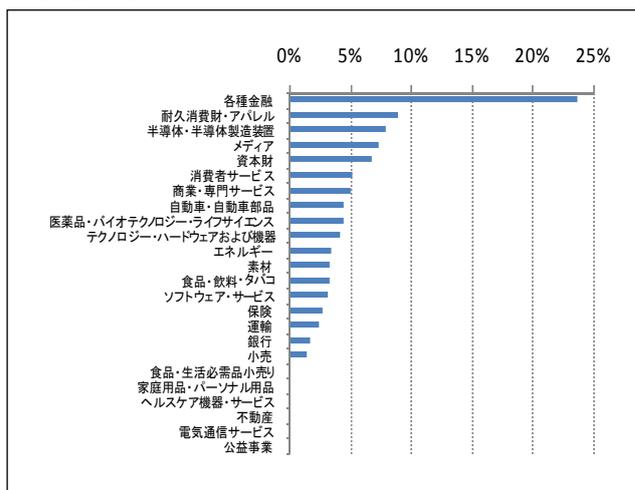
■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)

※2009 年 7 月末現在



業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ  
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安な 40 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。日本を除くグローバルに投資。
- ◆ 2007 年 7 月のファンド設定以来、「金融」を一貫して 3 割程度組入れ。
- ◆ 「金融」高位維持と景気敏感へのシフトがプラス寄与。
- ◆ 割安になったディフェンシブ(医薬品・食品など)に一部分散を開始。
- ◆ 景気敏感の中では半導体から割安な資本財にシフト。

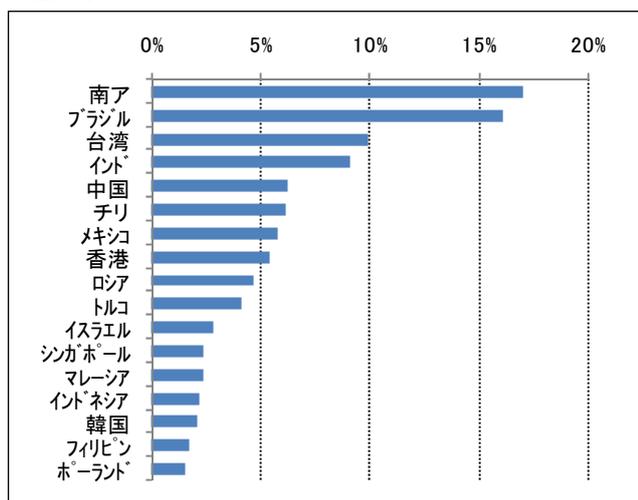
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2009 年 7 月末現在

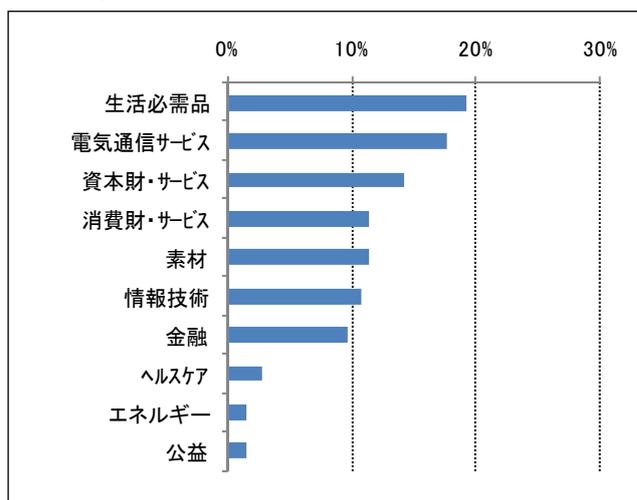
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	5.5%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2	MTN	4.1%	南ア	電気通信サービス	携帯電話
3	JBS	4.0%	ブラジル	生活必需品	食肉加工
4	EMPRESAS COPEC	3.2%	チリ	資本財・サービス	石油ガス・農林水産
5	CHINA MOBILE	3.1%	中国	電気通信サービス	携帯電話
6	MOBILE TELESYSTEMS	3.1%	ロシア	電気通信サービス	携帯電話
7	GOLD FIELDS	3.0%	南ア	素材	金鉱開発
8	CHINA LIFE INSURANCE	3.0%	中国	金融	生命保険
9	TIM PARTICIPACOES	2.8%	ブラジル	電気通信サービス	携帯電話
10	AMDOCS	2.8%	イスラエル	情報技術	ソフトウェア開発・サービス
上位 10 銘柄		29.1%			
その他 32 銘柄		68.7%			
キャッシュ		2.2%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

■ 業種別構成比 (マザーファンド) ※修正後のグラフ



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター  
構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆新興国の割安な 50 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。
- ◆財務体質が健全で情報開示の透明性が高い割安な企業に選別投資。
- ◆衣食住・インフラ等生活関連銘柄のウェイトが高い。
- ◆高成長新興国中心のポートフォリオ。
- ◆南ア、中国、ロシア、ブラジルの携帯電話会社が上位に揃う。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

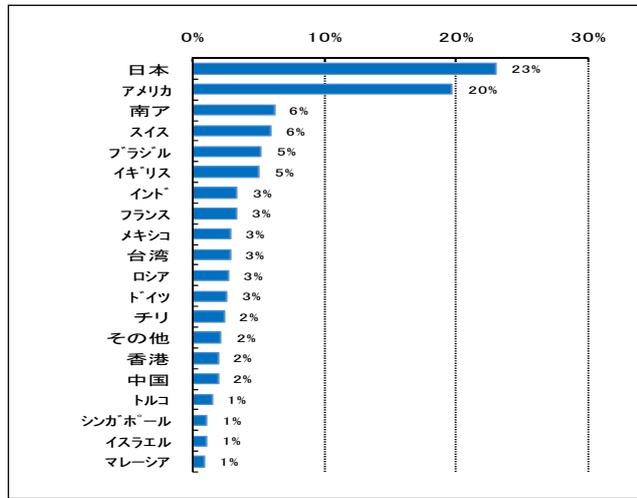
# ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況

## ■株式組入上位 20 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2009 年 6 月末現在

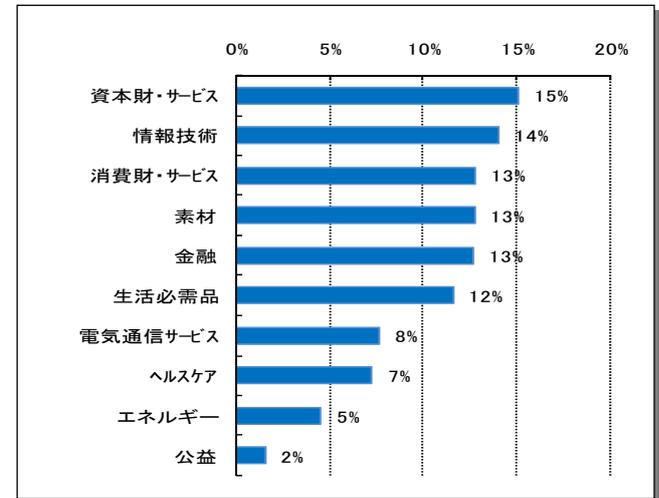
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等	主要組入F
1	MTN	1.5%	南ア	電気通信サービス	携帯電話	コムジエトF
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR	1.4%	台湾	情報技術	半導体メーカー	コムジエトF
3	JBS	1.3%	ブラジル	生活必需品	食肉加工	コムジエトF
4	EMPRESAS COPEC	1.2%	チリ	資本財・サービス	石油ガス・農林水産	コムジエトF
5	INTEL	1.2%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー	ハリスF
6	CHINA MOBILE	1.2%	中国	電気通信サービス	携帯電話	コムジエトF
7	IMPALA PLATINUM	1.2%	南ア	素材	プラチナ鉱山	コムジエトF
8	GOLD FIELDS	1.1%	南ア	素材	金鉱開発	コムジエトF
9	NOBLE GROUP	1.1%	シンガポール	資本財・サービス	資源商社	コムジエトF
10	CIPLA	1.0%	インド	ヘルスケア	医薬品	コムジエトF
11	AMDOCS	1.0%	イスラエル	情報技術	ソフトウェア開発・サービス	コムジエトF
12	Royal Dutch Shell	0.9%	オランダ	エネルギー	石油ガス	キャピタルF
13	JULIUS BAER	0.9%	スイス	各種金融	プライベートバンク	ハリスF
14	HEWLETT PACKARD	0.8%	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	コンピューター関連大手	ハリスF
15	Roche	0.7%	スイス	ヘルスケア	医薬品大手	キャピタルF
16	BANK OF NEW YORK MELLON	0.7%	アメリカ	各種金融	金融大手	ハリスF
17	FRANKLIN RESOURCES	0.7%	アメリカ	各種金融	資産運用(フランクリン テンプルトン)	ハリスF
18	FINANCIERE RICHEMON	0.7%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・ラグジュアリー	ハリスF
19	DAIMLER	0.6%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手	ハリスF
20	ブリヂストン	0.6%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位	さわかみF
上位 20 銘柄		19.8%				
その他銘柄		79.6%				
キャッシュ		0.6%				

## ■国別構成比 (上位 20 カ国)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

## ■業種別構成比



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター  
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

### >> コメント

- ☆組入銘柄数: 約 500、投資国数: 約 30 カ国。
- ☆組入上位 20 銘柄明細: 40 銘柄程度に絞り込んでいる「コムジエトF」「ハリスF」組入銘柄が上位に。
- ☆国別構成比: 日本・アメリカが 2 割程度で 1・2 位に。次いで南ア・ブラジル・インドなどの新興国が上位に。
- ☆業種別構成比: 消費財・サービスから生活必需品まで 6 業種が 15~12%の比率。全体的に好バランス。
- ☆これまで業績安定株(ヘルスケア・公益など)から景気敏感株(エネルギー・消費財など)にシフトしてきたが、直近では株価上昇などを受け、業績安定株の通信の比率が高くなっている。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。  
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。  
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## 雑 感 ～ その二 ～

ユニオン投信株式会社  
コンプライアンス室長  
鈴木 重弘



夏本番を迎えて、松本市から眺める乗鞍岳・常念岳はじめアルプスの山々は、わずかな残雪が尾根筋を際立たせて凛々しい夏山姿となりました。街中を流れる女鳥羽川には、日中の暑さを忘れさせる涼感があります。川面をツバメたちが気持ち良さそうに飛び回るのも、自然がすぐ近くにあり餌が豊富だからでしょう。

一ヶ月ほど前、通勤途上、ツバメたちがいつもと違うリズムでさえづっているのに気づきました。見上げると三羽の幼鳥が軒先に並び、少し離れて両サイドには立派な燕尾服を着た親鳥がいます。どうやら親鳥たちは、「早く飛びなさい・・・」と催促し、幼鳥たちは「(臆病に?) ちょっと待って・・・」と甘えて? いるようです。それにしても、激しく、賑やかなさえずりだったので、思わず立ち止まりしばらく眺め入ってしまいました。

まさに巣立ち直後、独り立ちしなければいけない幼鳥たちは、上手く飛び出せるかどうか、不安と躊躇する気持ちが一杯で力の限りさえずり、親鳥達は温かく応援していたのでしょう。

そうした幼鳥の心持は、初めての“投資”を実行する際の「決断」にも似ているところがあるような気がします。まとまったお金の運用を始めよう…月々積み立てて財産づくりを始めよう…と心に決めても、投資にはリスクが伴いますから、まだいろいろな状況が頭の中を巡ります。“将来期待する投資価値の上下のブレ”、とりわけ価値が減少するのではないかという不安です。

手前味噌になりますが、そのような時には、当「月次レポート」の毎号の「ファンドマネージャーコメント」や「メッセージ」を読み返していただくと、漠然としたリスクに係る“懸念”や“目の前の霧”も晴れてくる…そのようなお手伝いができると思います。

信濃毎日新聞社が今年5月に出した『「信濃の国」新時代』という号外を読む機会がありました。

長野県の“県歌”「信濃の国」は…

♪しーな-の-の-く-に-は-じゅっ-しゅう-に-♪

…で始まります。この歌は、1899年に作詞され翌年に現在のメロディが完成したそうですから、110年の歴史があり、県歌制定(1947年)からでも60年を経ています。全国一道一都二府四十二県のうち“県歌”が無いのは四県だけ(同紙調べ)、つまりほとんどは県歌(県民の歌)を持っているわけですが、県民の9割以上の方が「歌える」というデータ(2009.2(社)長野県世論調査協会)は、他県には見当たらないのではないのでしょうか。幼稚園・小学校の運動会をはじめ諸々のイベントで演奏され、親しまれているからこそです。

長野県は北海道を除くと面積が3番目に大きい県ですが、かつて南北二地域の分県論がありました。1948年の県議会でこの問題の採決をしようとした時、傍聴席から「信濃の国」の大合唱が沸き起こり南北融和に導いたというエピソードがあるそうです。明治以来、信濃の人々の心にしっかりと染み込んでいる歌ということが分かります。余談ですが、私の親父は下伊那生まれの明治男で、息子共に口笛を禁じるほどの唱歌嫌いでしたが、ご機嫌な時に浪花節口調!?で口ずさんでいたことを懐かしく思い出します。

歌詞は1番から6番まであります。1番はいわば信州概論・地勢の成り立ち、2～3番は山・河を織り込み、4番では古来の名所を並べています。5・6番では信州の偉人を讃え、いずれも格調高い歌詞で綴られています。

(興味のある方は、長野県のホームページ(下記URL)をご覧ください。試聴できます。)

<http://www.pref.nagano.jp/soumu/koho/kenka/kenka.htm>

県歌に謳われた素晴らしい“信濃”のへそ、松本市にユニオン投信株式会社が事務所を開いてお陰様で丸一年が過ぎました。一年前の今頃は、「ファンド」のコンセプトを固める議論やシステム関係のインフラ整備に全力投球中でした。そして昨年10月に誕生した「樹」は、秋—冬—春—夏と季節の折々の試練をく

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ぐりながら、ゆっくりしたペースではありますが、着実に根を張り、幹を太くしてきています。私たちは、グローバルな視点でこの「樹」を見守り、信州の名木に、そして我が国の名木に育てようと励んでいます。

平成21年7月27日記

## 平均余命から考える人生のゴールデンエイジ

ユニオン投信株式会社 取締役  
清水 学



おはようございます！ こんにちは！ こんばんは！ ユニオン投信の清水学です。

表題にある『ゴールデンエイジ(Golden Age)』を辞書等で調べると、近年ではスポーツ分野で使われることが多いとのことですが、一般的には『老人世代』や『黄金世代・黄金時代』と訳すようです。本コラムでは、『人生で最も輝ける、あるいは輝く世代』という意味で使わせていただきます。

最近、いろいろな地域や労働組合・企業内でライフプラン(資産形成、保障の見直し、生活設計など)のセミナーや勉強会の講師を務めさせていただいておりますが、50歳代以降の皆さまから「もう少し若い時に話を聞きたかった。」「もう、俺は(私は)時期が遅過ぎた。もう間に合わないよな。」といったご意見や感想が少なからず寄せられます。

このようなご意見の背景をお聴きすると、ほとんどの皆さまから「もう10年くらいで定年だから・・・」というお答えが返ってきます。これは、おそらく“人生のゴールやターゲット”が“定年退職”とされているからだと思われています。・・・特に企業にお勤めしていると、多くの企業が“退職する年齢”を定めているため、お気持ちとしては理解できます。

一方、7月16日に厚生労働省が発表した『平成20年(2008年)簡易生命表』の「平均余命」は下表の通りです。

	60歳からの平均余命	65歳からの平均余命
男性	60歳+22.58歳=82.58歳	65歳+18.60歳=83.60歳 (65歳+11.91歳=76.91歳)
女性	60歳+28.12歳=88.12歳	65歳+23.64歳=88.64歳 (65歳+14.37歳=79.37歳)

※1:「65歳からの平均余命」の下段の()内は約50年前(2009年-50年=1959年)の平均余命です。

※2:ちなみに、よく使われる「平均寿命」は、0歳からの「平均余命」です。

いかがでしょうか？ 私は現在42歳ですが、20歳～30歳くらいの時は「俺たちの世代は、親やおじいちゃん・おばあちゃん世代と比べて、贅沢な物や身体に良くない物を食べて、不摂生な生活しているから長生きしね～よな～」なんて仲間と会話していたことを思い出します。ところが、医療技術(病気の早期発見技術や予防医学も含む)の進展などにより、毎年、平均寿命・平均余命は長くなっています。平均値とは言え、“長生きする確率が年々高まっている”のが事実です。

特に世界の中でも長寿化が進んでいる日本人は、人生85年～100年という時代が“すぐそこ”にやってきました。(女性の65歳からの平均余命は23.64歳で、既に人生約90年となっています。)

ここでの問題は、会社員でいえば「定年後の極めて長い自由時間をどう過ごすか？」にあります。

この極めて長い自由時間を、現役世代の労働時間と比べると、

### <労働時間>

年2400時間 (MAXレベル) × (60歳-20歳) = 96,000時間

### <60歳以降の自由時間>

(1日24時間-10時間(食う・寝る・お風呂に入る等の生活必要時間)) × 365日 × (85歳-60歳) = 127,750時間

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

上記の通り、定年後の自由時間は生涯の労働時間とほぼ同等、いや、それ以上となります。  
会社に勤めていれば時間はアツという間に過ぎ、勤務中にお金を使うことは少ないと思います。また、現役中は会社の仕事だけでなく、子育てや家事にも追われ、やはり瞬く間に時間が過ぎて行くと思います。  
ところが、定年後は有り余る“自由時間”が待っています。

一日、毎日、20時間以上寝ていられれば問題ないかもしれませんが、そうはいかないのではないのでしょうか？ 何もしないで家にジッとしていても楽しいはずはないですし、“自由時間”があればあるほど、何かやることを考える必要があり、何かをするためには、それなりのお金が必要となります。

そのためには、「“定年になってから考える”では、ちょっと遅い!!」というのが私の考えです。

特に社内外の友人づくりや地域社会との繋がりをつくっておく、趣味を増やす、自己投資をして勉強する（定年後も別の場で活躍できる）、資産運用を開始するなど、今から始めることは沢山あると思います。

ただか42歳の私が言うのは僭越ですが、一番自由時間が多いのは定年後であり、人生を謳歌できるゴールデンエイジは65歳～80歳くらいである。…そして、何を始めるにも遅いことはない。

いつでも『今日が、毎日が人生のスタート!』と考えて行動に移し、時間を大切にしている人が幸せになっており、周りの人も幸せにしているような気がしてなりません。

平成21年8月7日記

## 『ユニオンファンドのリスク』

### 一 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。 一

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの方式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

## 『ユニオンファンド』の手数料

### 一 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手数料等および税金」をご覧ください。 一

【申込手数料】 … お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

【換金手数料】 … ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

【信託報酬】 … 総資産総額に年0.84%（税抜き 年0.8%）の率を乗じて得た額です。

毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。

[実質的な信託報酬※ 信託財産の純資産総額に対して年1.9%±0.3%（概算）]

※『ユニオンファンド』は他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。

【信託財産留保金】 … 信託財産留保金はありません。

【その他の費用】 … 『ユニオンファンド』に組み入れるファンドを売買する際に発生する売買手数料およびこれにかかる消費税に相当する額は投資信託財産より控除されます。

※実際の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## ◆ 業務管理部よりお知らせ ◆

### ◆ ユニオンファンドの換金(解約)について ◆

ユニオンファンドを換金(解約)される際は、以下の点にご注意ください。

#### 【お申込みについて】

ファンドの換金(解約)はお電話でのみ受けさせていただきます。

ご連絡の際、ご本人様確認をいたします。ご確認させていただく項目の中で弊社へご登録の「解約代金の振込先」をお聞きしますので、あらかじめ振込先口座情報もご用意してください。

#### 【残高に近い金額で「金額指定解約」の場合】

「金額指定解約」によるお申込みで、約定日の基準価額によって現在の残高が指定金額に満たない場合は「全解約」でのお申込となります。

#### 【特定口座「源泉徴収あり」をご選択の場合】

特定口座を開設され「源泉徴収あり」を選択された場合は、換金される都度、ご指定の換金額に対して利益があれば税金を徴収し、損失が出た場合は既に徴収した税額からお客様に還付されます。よって換金額とお客さまの口座に振り込まれる金額が異なります。

#### 【お振込みについて】

換金(解約)のお申込みより“6 営業日目”に、解約代金を「解約代金の振込先」口座へお振込みいたします。

なお、振込先口座へ入金される時間は、各金融機関によって異なります。

### ◆ 定期定額購入について ◆

毎月 5 日(休日の場合は翌営業日)にご指定いただきました金融機関口座より自動引落としされ、8 営業日後の基準価額にて購入いたします。

なお、“新規申込み”“各種変更”には、締切日がございます。締切日を過ぎて届出書類が弊社へ到着した場合には、ご希望される月からは反映されませんのでご注意ください。

#### 定期定額購入スケジュール

引落開始月	新規申込み 引落口座変更 締切日	金額変更 引落中止 締切日	ご指定の金融機関 口座からの引落日	ファンドご購入日 (約定日)
9 月	締切りました	8 月 21 日 (金)	9 月 7 日 (月)	9 月 17 日 (木)
10 月	9 月 2 日 (水)	9 月 15 日 (火)	10 月 5 日 (月)	10 月 16 日 (金)
11 月	10 月 1 日 (木)	10 月 20 日 (火)	11 月 5 日 (木)	11 月 17 日 (火)

ご不明な点などがありましたら、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までご連絡ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。